

みなかみ町高原千葉村活用事業案

I. 序文

群馬県利根郡みずがみ町は自然の恵みを多く有して、日本国内だけでなく諸外国に対してもユネスコエコパークとして「自然と人間社会の共生」を旗印に掲げて町づくりを行って来た数少ない町です。

その、みなかみ町からの公募事業として高原千葉村跡地に対する提案を受けて頂けるとの事で、当 NPO 法人希少難病ネットつながると一般社団法人 RDRD サポートーズ、諸外国の有志から構成された新設一般社団法人 AJCFDHPTAM が実施運営を連携して「水と自然と貧困層教育を主体とした環境衛生を見据えた事業」を行い、地域住民と諸団体とが融合した活動を行って行きます。

全体構成としては、各カテゴリーを5つに分けた、コンポーネント事業を行って行きます。

A カテゴリーは海外の貧困層の子供達への日本固有の教育を基盤とした事業

B カテゴリーは既存宿泊施設を継承した、実体験教育と自然科学教育事業

C カテゴリーは働きたくても働けない人達（希少難病を含む難病患者と家族・肢体的障害患者を含む障害者と家族）への支援事業

D カテゴリーは新たなテーマパークを見据えて、海外の固有宿泊施設を流用した交流型観光事業

E カテゴリーは日本に点在する自然環境及び衛生環境を生かし、未来の子供達へ残そうとする新たなアイデアを生み出す小機部運営事業と連携したマッチング事業

上記の5つのカテゴリーを得意とする諸団体と連携して行って行きます。

II. 実施事業のカテゴリー毎の詳細内容

A カテゴリー

モンゴル国、インド、バングラディシュ人民共和国の貧困層の子供達へ現地及び日本語教育・農業体験教育・IT 関連教育・日本の伝統工芸継承教育・環境衛生教育・異国文化交流教育を主軸として、教育終了後の生活安定を踏

また、技能研修教育も行います。

日本の通訳・農業・TI 関連・伝統工芸等の指導を行える支援者達と、インターネットシステムを活用した遠隔教育を行って行く。

B カテゴリー

既存の施設で実施された関東近県の小・中・高の夏季林間教育をベースに再構築し、新たな自然とのふれあい教育を構築する。

C カテゴリー

働きたくても働けない人達（希少難病を含む難病患者と家族・肢体的障害患者を含む障害者と家族）への支援事業

D カテゴリー

新たなテーマパークを見据えて、海外の固有宿泊施設を流用した交流型観光事業

E カテゴリー

日本に点在する自然環境及び衛生環境を生かし、未来の子供達へ残そうとする新たなアイデアを生み出す小機部運営事業と連携したマッチング事業

III. 採算性の資質要素及び収支予測

IV. 支援、実施団体の構想イメージと可能性

V. タイムスケジュール表

VI. 総評